

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	056									
事務事業名	市民コミュニティホール管理経費					補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	07	項	01	目	02	事業	06
担当部	産業振興部	担当課	商工観光課		担当係	商工		係												
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)					根拠法令及び市条例等		<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称:)												

2 事務事業の目的

当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か？→ ②一方で、「現状や課題」はどうか？→ ③そのためには何をすべきか？ という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	市の指定文化財である旧報徳銀行の維持管理 【現状】市の指定文化財であるが、建物の耐震に問題があるためコミュニティホールとしての活用は行っていない。 【課題】耐震化による活用・移築・廃止等を引き続き検討していく必要がある。	誰・何を対象に	旧報徳銀行	望ましい状態	市の指定文化財である旧報徳銀行の維持管理 市の指定文化財としての役割を損なわない方法で施設の在り方を考える。
		どのような方法・手順で	市職員による備品の管理、年二回の消防設備点検		

3 事務事業の主たる成果指標

数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	目視による施設の点検回数	単位	回	目標値	12	目標年次	令和元年度	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	月一回以上の目視による施設点検を実施することとする。
-----	--------------	----	---	-----	----	------	-------	----	-------------------------------------	----------------------------

4 事務事業の実績 ㉑

当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度										
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量									
事務事業を構成する主な業務	① 市職員による備品の管理	12回	① 市職員による備品の管理	12回	① 市職員による備品の管理	12回									
	② 業務委託による消防設備点検	2回	② 業務委託による消防設備点検	2回	② 業務委託による消防設備点検	2回									
	③		③		③										
	④		④		④										
	⑤		⑤		⑤										
	⑥		⑥		⑥										
	⑦		⑦		⑦										
	⑧		⑧		⑧										
	⑨		⑨		⑨										
	⑩		⑩		⑩										
	⑪		⑪		⑪										
	⑫		⑫		⑫										
目標値に対する実績値		回	目標値に対する実績値		回	目標値に対する実績値		回							
決算額	計	72,515 円	内訳	特定財源	円	計	71,838 円	内訳	特定財源	円	計	71,397 円	内訳	特定財源	円
				一般財源	72,515 円				一般財源	71,838 円					一般財源
		(住民一人あたりの行政コスト)		1 円			(住民一人あたりの行政コスト)		1 円			(住民一人あたりの行政コスト)		1 円	

5 担当者評価 ㉒

実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	目標は設定していない	成果内容	消防設備点検を実施している。
問題点	旧報徳銀行をどう活用していくかという検討だけではなく、現在まちなかにある公共施設の在り方を含め、検討協議する必要がある。		

6 担当部長及び担当課長評価 ㉓

担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

施設の存続については、市民の広場の有効活用及び中心市街地のにぎわい創出プロジェクトの協議や公民館等施設活用方針検討調査業務委託予算によるコンサルティングなどで、旧報徳銀行の耐震化による活用方法、移築、廃止等が協議・検討される計画のため、現予算の継続が望ましい。

7 実施計画 ㉔

今後3年間の事業内容について、どのようなことを・どの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳入の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容	耐震化が必要な施設であることから、市民への貸し出し等は行っており、維持管理のため年二回消防点検のみを行っている。	耐震化が必要な施設であることから、市民への貸し出し等は行っており、維持管理のため年二回消防点検のみを行っている。	耐震化が必要な施設であることから、市民への貸し出し等は行っており、維持管理のため年二回消防点検のみを行っている。

8 財務アドバイザーの見解

6の評価理由にあるように、休止・廃止も選択肢として、本事務事業の必要性と計画に関するゼロベースの検討を期待する。

9 行政改革懇談会(市民)の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。
旧報徳銀行は先人の残した財産であるので、耐震化による活用、移築を検討し、最良の案を考えて欲しい。検討の結果次第で廃止もやむなし。

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

現時点では、今年中に完成する公民館等施設活用方針検討調査を基に、市の方針を打ち出すべきであり、決定するまでは現行どおりとする。

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉖

実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

成果指標	指標名	目視による施設の点検回数	単位	回	目標値	12	指標名	目視による施設の点検回数	単位	回	目標値	12	指標名	目視による施設の点検回数	単位	回	目標値	12
予算額	歳出	計		78 千円		歳出	計		76 千円		歳出	計		76 千円				
		特定財源		千円			特定財源		千円			特定財源		千円				
	歳入	一般財源		78 千円		歳入	一般財源		76 千円		歳入	一般財源		76 千円				
		計		78 千円			計		76 千円			計		76 千円				

事業内容

今後の当該施設活用の方向性について定まっていなため、施設を維持することを目標とし、月一回以上の施設点検をすることとする。

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉖

実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容

今後の当該施設活用の方向性について定まっていなため、施設を維持することを目標とし、月一回以上の施設点検をすることとする。